

印旛村公共下水道事業 事業再々評価(汚水)

平成20年11月
千葉県印旛郡印旛村

印旛村の概要

本村は千葉県北部に位置し、南部および東部を印旛沼に接しています。

これまでに千葉ニュータウン事業及び平賀学園台地区等の市街地整備を進めるとともに、順天堂大学・日本医科大学千葉北総病院の誘致を図るなど、豊かな自然に恵まれた地域環境の中で着実に都市的機能を充実させてきました。

平成12年には鉄道開通と千葉ニュータウンいには野地区のまちびらきが行われました。



事業の必要性(汚水)

印旛沼



【汚水】

居住環境の改善

印旛沼の富栄養化防止

印旛沼の生態系保全

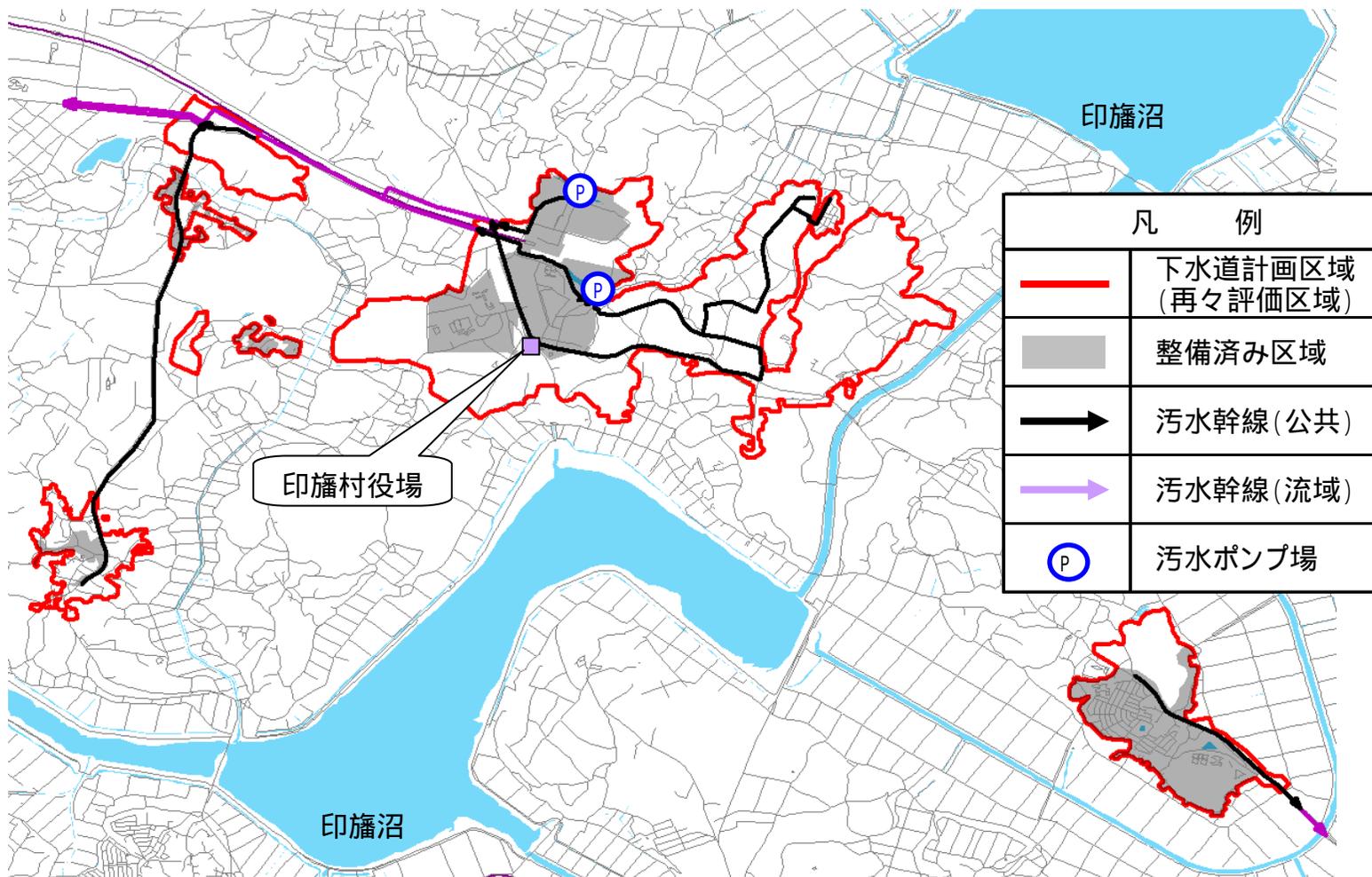
印旛沼のかいつぶり



千葉ニュータウンいには野地区



下水道事業の概要(汚水)



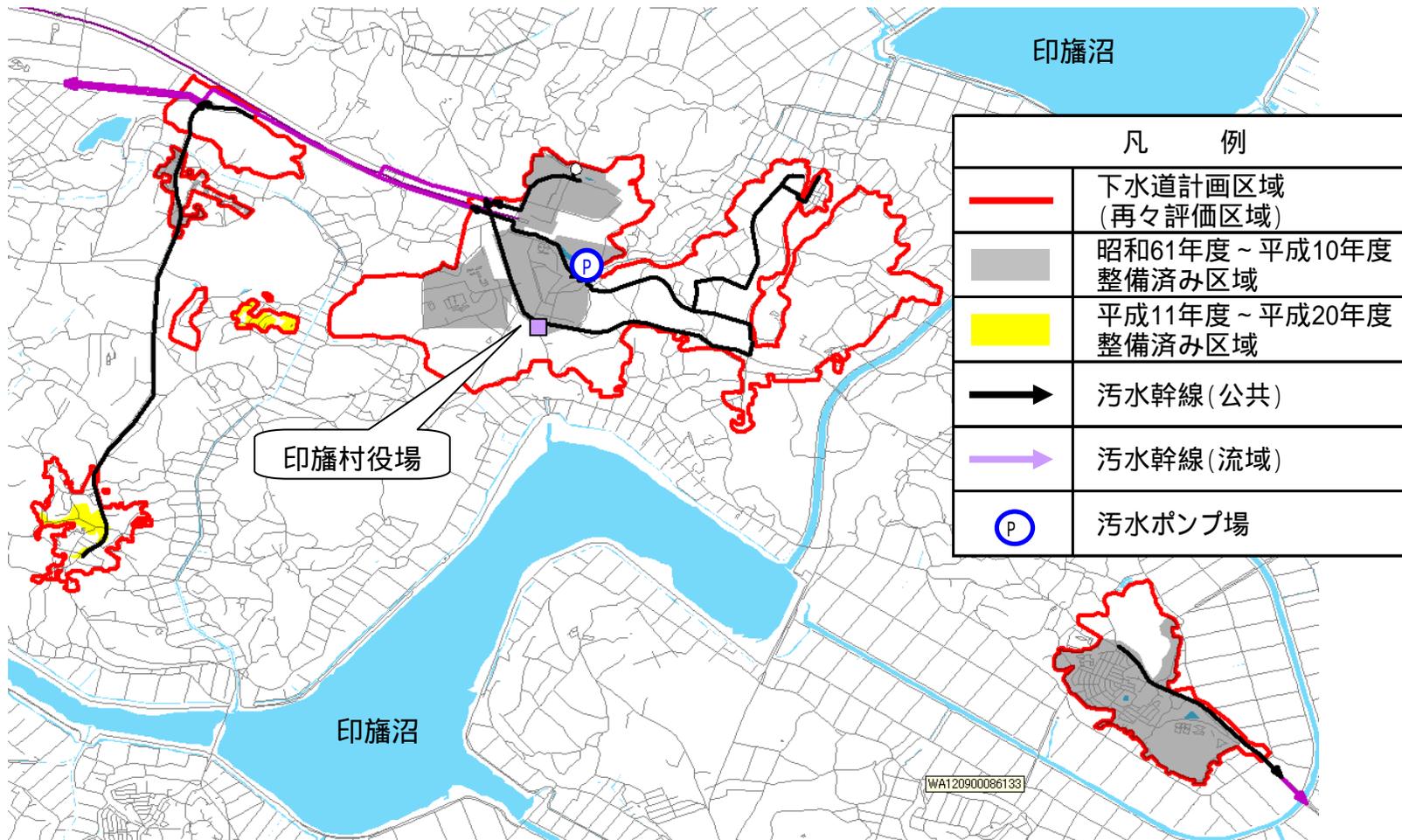
指標1 費用効果分析(汚水)

総 便 益 (B)	304 億円
総 費 用 (C)	200 億円
費用便益比 (B / C)	1.5

指標2 事業の進捗状況(汚水)

指 標	状 況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画262haに対して195haを整備し、整備率は74%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は96%である。
地元情勢等	印旛村議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(汚水)



指標3 社会経済情勢等(汚水)

指標	状況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(汚水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本村の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適。

対応方針(汚水)案

印旛村公共下水道事業(汚水)は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

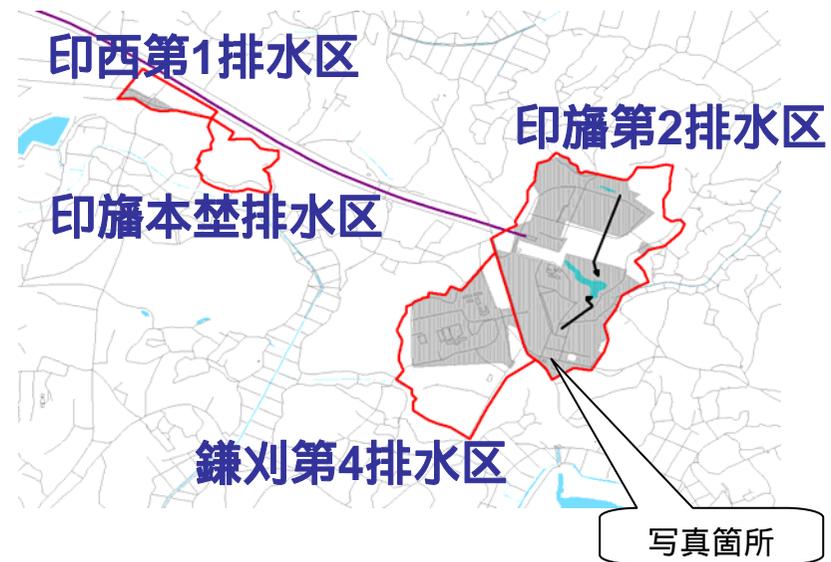
印旛村公共下水道事業 事業再々評価(雨水)

平成20年11月
千葉県印旛郡印旛村

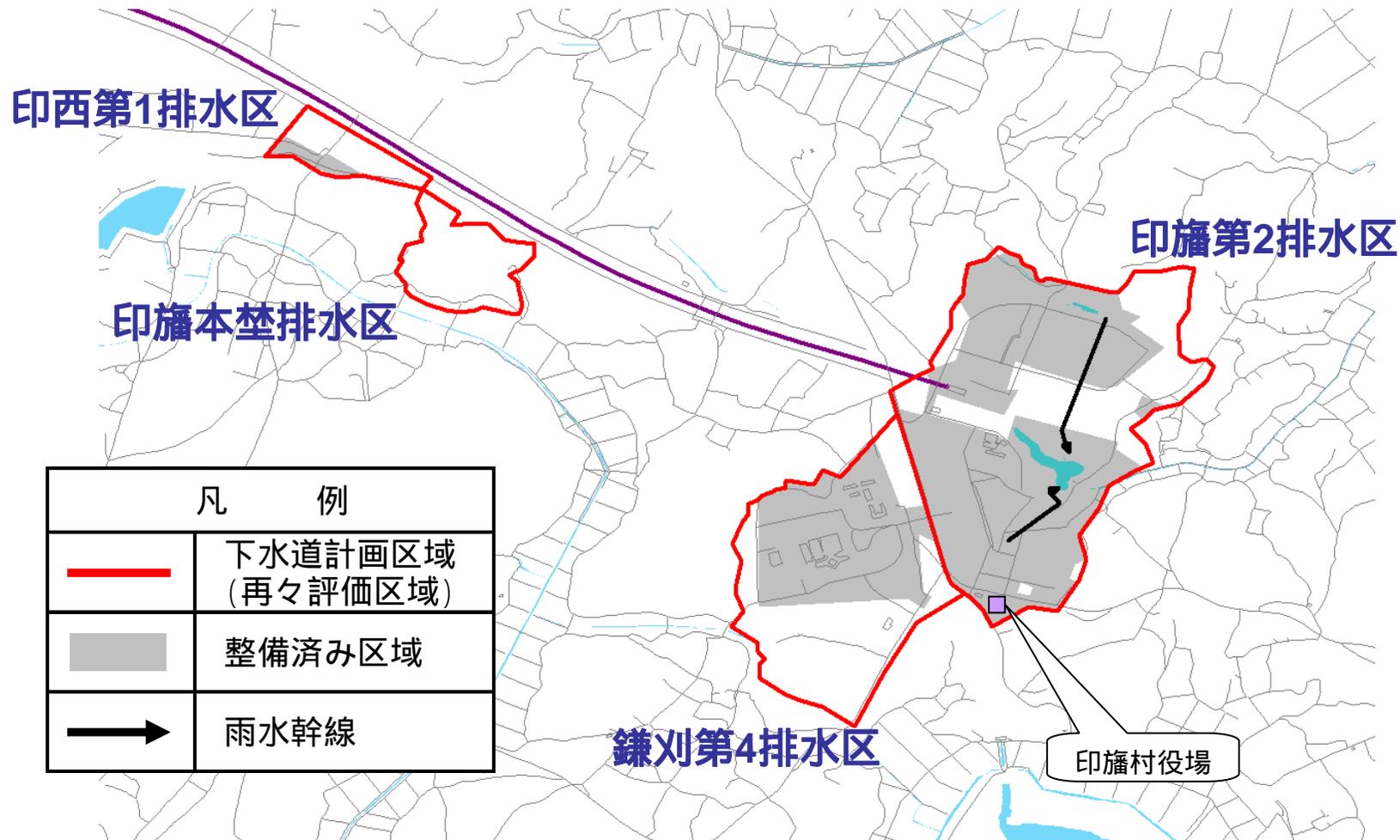
事業の必要性(雨水)

【雨水】

浸水による被害から住民の
安全と財産を守る



事業の概要(雨水)



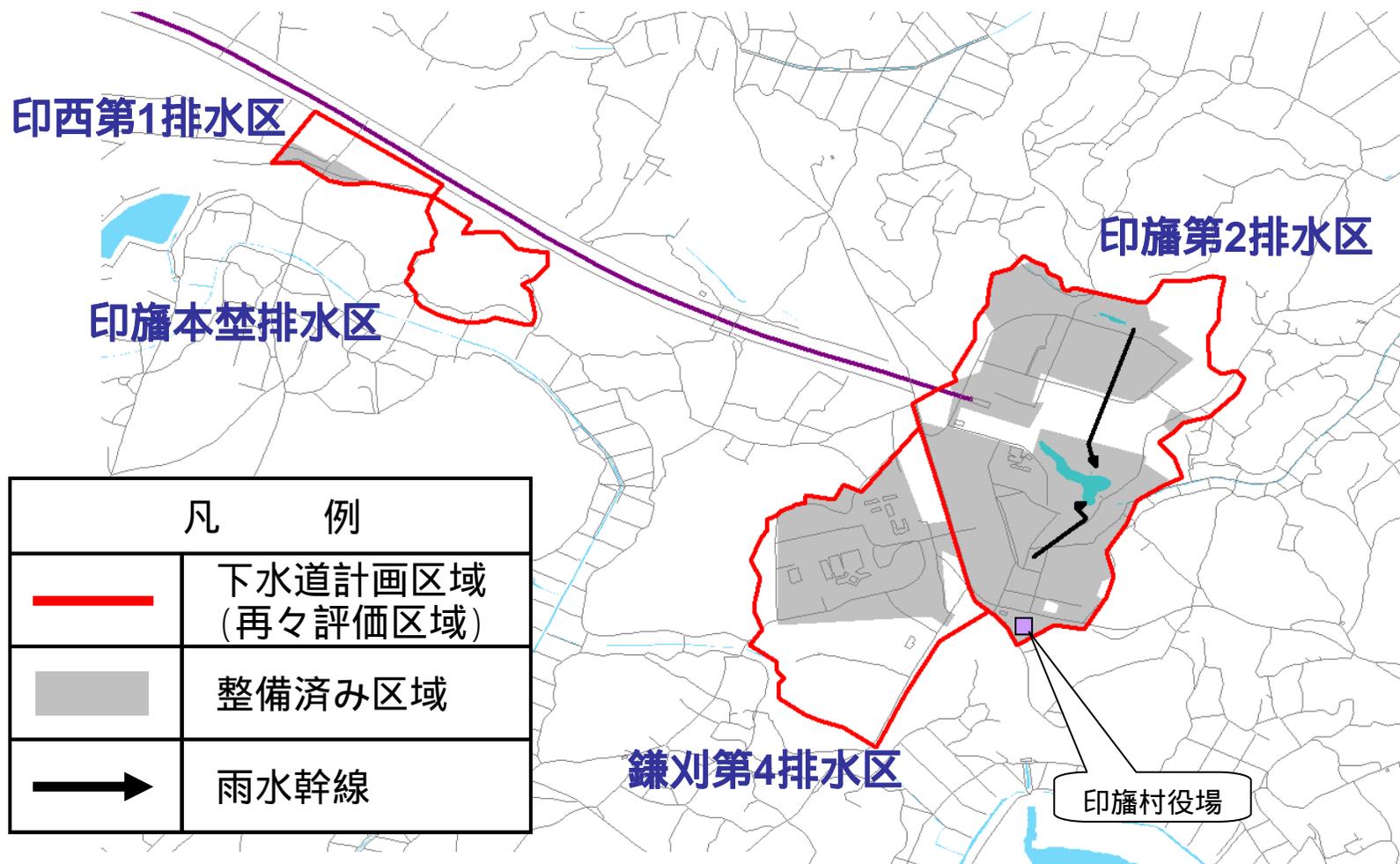
指標1 費用効果分析(雨水)

総 便 益 (B)	99 億円
総 費 用 (C)	46 億円
費用便益比 (B / C)	1.6 ~ 3.0

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指標	状況
事業の進捗状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画151haに対して110haを整備し、整備率は73%である。
地元情勢等	印旛村議会の理解及び地元住民の理解・協力は得られている。

指標2 事業の進捗状況(雨水)



平成11年度以降の整備区域はなし

指標3 社会経済情勢等(雨水)

指標	状況
社会経済情勢	下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
計画変更の有無 及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。

対応方針(雨水)案

印旛村公共下水道事業(雨水)については、今後も引き続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。